鹿本高校ＳＳＨ通信 Vol.2　令和４年(2022年) ５月３１日発行　発行者：熊本県立鹿本高等学校　校長　石村秀一　担当者：川元隆一

Kamoto High School SSH Journal

鹿本高校SSH通信 Vol. 3

５月26日、令和4年度SSH講演会を実施しました。

「自然と共存する科学技術を求めて

～科学技術の面白さ・これからの科学技術・ＳＤＧｓと感性～」

講師：東京大学先端科学技術研究センター

教授　神崎亮平 氏

研究分野：生命知能システム分野の研究

感染拡大防止のため２年生は山鹿市民交流センターで、１、３年生は学校でオンライン配信での聴講となりました。

本講演では、昆虫の優れた能力、昆虫が感じている感覚など多くの興味深いお話がありました。

科学技術にアートや感性を組み込む大切さなど、私達が知らなかった世界や考え方を教えて頂きました。

質疑応答の時間には、２人の生徒から質問があがりました。

２－５牧野さん（山鹿中出身）

２－２竹下さん（山鹿中出身）

最後に、２－２笹本さん（菊池南中出身）が

「理性だけで動かず、人も自然の一部で生かされているという自然中心の考え方を大事にし、他の動物と同じで自然と繋がる感性を大事にしたいです。今行っている、地元の資源を生かした観光についての課題研究でも、自分だけがみえている世界に限定せず地元に住んでいる人の目線も考えて研究していきたいです。」と謝辞を述べました。

笹本さんと神崎先生